

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

資料②

対象者の目安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職【あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です】

分野	No.	月日	形式	テーマ・内容	対象者の目安				講師
					初 任	中 堅	充 実	管 理	
教育・保育の質の維持・向上	1	5月20日	講演・グループワーク	「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」 基本理念をキーワードに、エピソードをもちり、語り合うことを通して、教育・保育実践における具現化につなげる。	◎	◎	◎	◎	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授
	2	8月19日	実技研修	「絵本ではなくむ子どもの感性」 幼児教育施設での絵本の環境づくりについて学び合う。	○	◎	◎	○	西村 恵里香 東宇治図書館 主任(図書館司書・絵本専門士)
	3	9月17日	公開保育	「保育を観て学び合う」【大谷大学附属大谷幼稚園】 公開保育とその後の意見交換を通して、学び合う。	◎	◎	○	○	長澤 宗一 学校法人心華学園みのり幼稚園 園長 松井 明恵 こざくら幼稚園 園長
	4	10月28日	公開保育	「園の環境づくりについて」 子どもの創造的な表現活動や環境づくりについて実践から学び合う。	○	◎	◎	○	津田 純佳 アトリエリスタ (H29～R2文化庁新進芸術家海外研修員/イタリア レッ ジョ・エミリア市)
	5	12月25日	公開保育	「保育を観て学び合う」【大久保保育所】 公開保育とその後の意見交換を通して、学び合う。	◎	◎	○	○	大久保保育所長
	6	1学期 (6月26日)	公開保育・ グループワーク (全3回シリーズ)	「保育を観て学び合う」【ひがしうじ幼稚園】 参加者が、研修で学んだことをそれぞれの園で実践し、その結果を次の研修に再び 持ち寄って学びを深め合っていく往還型研修	-	◎	◎	○	佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授
	7	2学期 (11月17日)							
	8	3学期 (2月2日)							
保幼こ小連携	9	5月27日	ビデオ視聴・ グループワーク	「1年生の教室環境を観て学び合う」 スタートカリキュラム実践時の教室環境等を視聴しながら意見交換を通して学 び合う。	○	◎	◎	○	幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事
	10	6月23日	講演・ グループワーク	「宇治市のめざす教育・保育」 乳幼児教育・保育支援センターがめざす教育・保育について、共有し、一 貫性・連続性のある教育・保育について語り合う。架け橋ブロック顔合わせを行う。	-	-	-	◎	乳幼児教育・保育支援センター長 教育総合推進センター長 岡屋小学校長
	11	7月11日	ビデオ視聴・ 解説	「スタートカリキュラムの改善Ⅰ」 令和7年度のスタートカリキュラムを持ち寄り、児童の様子や成果と課題について 意見交流をする。また、架け橋プログラムを踏まえた新しいスタートカリキュラム とその実践について学び合う。(主対象:小学校教務主任)	○	◎	◎	○	幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事
	12	7月28日	実践報告	「育ちと学びをつなぐ」 宇治市教育研究員の研究報告を通して、就学前施設は、小学校以降の教育を見通し ながらその基盤となる資質・能力を育成していくことを、小学校は、幼児教育施設 で育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施することについて学び合う。	○	◎	◎	○	令和6年度宇治市教育研究員
	13	11月20日	ビデオ視聴・ 解説	「スタートカリキュラムの改善Ⅱ」 1学期の研修内容を踏まえ、令和8年度のスタートカリキュラム(案)を協働して作成 する。(主対象:小学校教務主任)	○	◎	◎	○	幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事
	14	2月16日	実践報告・ グループワーク	「実践から学び合う」 令和7年度における各架け橋ブロックの取り組みの成果や課題等を報告し合い、次 年度の取り組みに活かす。	◎	◎	◎	◎	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科 教授
発達・子育て支援	15	7月4日	講演	「不登校の現状と支援から幼児期を考える」 小中学校の不登校の現状や支援を知り、幼児期に配慮すべきことについて学び合 う。	○	◎	◎	◎	植 えり 地域支援センター「サポートJOYO」 地域コーディネーター 教育支援課指導主事
	16	7月15日	講演・ グループワーク	「宇治市のフォローシステムについて学ぶ」 発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する就学前後のフォローシステムに ついて学び合う。	◎	○	○	○	保健推進課発達相談員 学校教育課指導主事
	17	8月1日	講演・ グループワーク	「移行支援シートの記入方法について学ぶ」 移行支援シートの活用事例や記入例から学び合う。	○	◎	◎	○	宇治市特別支援教育推進委員会委員
	18	9月2日	講演	「0～1歳頃の子どもの発達について」 乳児期の発達段階を学び、その時期の子どもへの関わりを学ぶ。	◎	◎	◎	◎	服部 敬子 京都府立大学公共政策学部 教授
	19	9月10日	公開保育or ビデオ視聴	「行動分析とカンファレンス」 具体的な子どもの姿を通して、アセスメント、関わり方等について学び合う。	○	◎	◎	○	作業療法士
	20	11月28日	公開授業	「インクルーシブ教育」(多様な学びの場創造事業と合同開催) モデル校による公開授業・研究報告会を通して学び合う。	○	◎	◎	○	調整中
	21	12月11日	グループワーク	「保護者支援について」 保護者の思いに寄り添い、支援していく姿勢について学びあう。	◎	◎	◎	◎	保健推進課発達相談員

令和7年度 研究・実践発表(ひいらぎこども園)

No.	月日	形式	内容	対象者の目安				講師
				初 任	中 堅	充 実	管 理	
1	11月5日	公開保育	研究テーマ 「小さな発見を意味付けて大きく育てる教育・保育の創造」 ー「じぶん」「ひと」「もの」の発見を通してー 研究園の公開保育と実践発表、研究協議等を通して、学び合う。	◎	◎	○	○	木下 光二 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 特命教授